

第3学年 総合的な学習の時間 学習指導案

日 時 平成26年10月7日(火) 公開授業1
場 所 2・3年教室
児 童 3年 男子4名 女子2名 計6名
指導者 村 山 和 男
支援員 川 袋 康 子

1 単元名 九戸村に伝わる民話のすばらしさを伝えよう

2 単元について

(1) 教材について

3年生の総合的な学習の時間は、今年度は大きく二つの単元で構成され、「江刺家神楽」と「九戸村に伝わる民話」について学習を展開していく。これらの学習を通して、地域の伝統のよさを見つめ、それを守り続け伝えていこうとする気持ちと地域に伝わる宝を大切にしていこうとする態度の育成をねらいとしている。

本単元は、「九戸村に伝わる民話」を取り上げ、次の活動を柱として考えた。まず、語り継がれている民話を調べる活動。次に、調べた内容を他の学年に伝えるためにまとめる活動。最後に、発表を通して民話のすばらしさに気づき、他の学年に伝える活動である。九戸村には、昔から伝わる多くの民話があり、村で本の発行をしているほどである。しかしながら、子どもたちには、それらの民話がどのような内容で、どれくらいの数があるのかなどについてはあまり知られていない。また、子どもたちの家庭でも、いろいろな民話についての話題があまりないことが分かった。

そこで、調べる活動では、村の図書館の見学学習でインタビューを行ったり、家庭では父母や祖父母への聞き取りを行ったり、インターネットを使って調べたりする。伝えるためのまとめる活動では、子どもたちが読み聞かせを数多く体験していることを生かして紙芝居作りを行う。また、他の学年に伝える活動では、対象を下学年として、視覚に訴えて場面ごとの展開を捉えやすい紙芝居の読み聞かせを行う。

さらに、三つの活動の柱を通して、地域の方、父母や祖父母、下学年の子どもたち等の関わり合いが設定されているので、人間関係調整能力を伸ばしていくことのできる単元である。

(2) 児童について

児童は、学校生活の中で、休み時間や各行事の取り組み、児童会活動などで他の学年と関わり合っている。放課後子ども教室やスポーツ少年団等の活動、江刺家神楽や全校の田植えでも、地域の方々や上学年から様々なことを教えられている。また、今年度から2・3年複式学級となり、学級の中では、2年生のお世話をする機会も増えてきているので、主体的に交流活動をしようとする態度や力は伸びてきている。

しかし、これまでの活動では、大人や上学年から教わることやお世話をしてもらうことが多く、まだ相手のことを考えて行動したり、下学年のお手本としての意識を持ったりすることが少ない。また、あいさつや返事などは意欲的に行うが、相手の気持ちや考えを理解して自分の気持ちや考えを分かりやすく伝えたりする力は十分とは言えない。係活動や学習の中の学び合いの場面等での理解も十分とは言えない。

(3) 指導について

単元の柱である「調べる活動」「まとめる活動」「伝える活動」を通して、九戸村に伝わる民話について理解させるとともに、これまでの活動経験や民話の特性を捉えながら、子どもたちが課題設定や活動内容を選択できるよう進めていきたい。

「まとめる活動」では、九戸村の民話の特徴やお話の舞台となっている場所の確認などをまとめ、調べた民話をもとに紙芝居全体の長さを考え、場面ごとに文章や絵の構成を考えさせ、下学年を意識した作品作りをさせたい。

「伝える活動」では、下学年に紙芝居の読み聞かせをする前に、読み聞かせの仕方や聞き手を引きつける工夫について、授業参会者から評価をもらいながら読み聞かせを繰り返すようにしたい。そして、下学年への発表を組み入れることにより、自信を持って読み聞かせをするとともに、お手本を示したりお世話をしたりするという、上学年の意識を育てていきたい。

3 仮説との関わり

本単元では、相手の立場を尊重し、お互いの気持ちや考えを伝え合い、理解し合う力を身に付けるため、第1次「調べる活動」では、地域人材の効果的な活用として、地域の図書館でのインタビュー活動を設定し、九戸村の民話についての理解を深めるようにした。第2次「まとめる活動」では、関わり合いを支える発表資料作りとして、紙芝居を協力して作ることにした。第3次「伝える活動」では、意図的に関わる部分として、チェックシートの活用による外部の人（図書館の職員や読み聞かせのボランティアの人）からの評価をいただいたり、グループ内での相互評価をしたり、下学年への読み聞かせ会を設定した。

以上の活動を取り入れることで、人間関係調整能力を育成できると考え、本単元のキャリア教育の目標を設定した。

4 単元目標

(1) 総合的な学習の時間の単元目標

九戸村の民話についてのインタビュー活動や調べ活動、伝える活動を通して、地域に古くから伝わる民話のすばらしさについて理解し、人と関わり合う力を身に付けていく。

本単元で身に付けたい資質や能力及び態度

[学習方法に関すること] ・課題をもって取り組み、インタビュー活動や調べ活動をする。 ・インタビュー活動や調べ活動で学んだことをまとめ、発表資料を制作する。
[自分自身に関すること] ・自分の課題を決め、実行することができる。
[他者や社会との関わりに関すること] ・友だちと協力して活動する。 ・他者の考えや意見を受け入れる。

(2) キャリア教育の目標

- ・グループで協力して資料作りをする。
- ・他の人の評価を整理し、めあての達成状況を判断し、工夫して読み聞かせをする。
- ・友だちの発表のよいところを認め、励まし合うようにする。

6 単元の評価規準

	学習方法に関すること	自分自身に関すること	他者や社会に関すること
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> 課題をもち、インタビュー活動や調べ活動をし、紙芝居作りをすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 調べ活動や紙芝居の制作活動を通して、制作した物の内容や思ったこと等を伝えている。 地域に伝わる民話や昔話の内容を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分から進んで、交流活動に取り組んでいる。 紙芝居の読み聞かせを行い、発表の仕方を改善している。

7 活動計画（17時間）

次	活動のねらい	時数	主な活動	評価規準
1 次	<ul style="list-style-type: none"> ○江刺家地区や九戸村に昔から伝わる民話を活用して、低学年との交流活動しよう ・調べ活動や交流活動の計画を立て、めあてを作ることができる。 ・図書館でのインタビュー内容について考えることができる。 ・図書館でインタビューをすることができる。 ・調べ活動をする。 	5	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の宝として考えられる江刺家地区や九戸村に昔から伝わる民話を調べ、それを活用して、低学年との交流活動をする活動計画を立てる。活動計画をもとに、グループごとにめあてを立てる。(1) ・インタビューの内容について考える。(1) ・インタビューをする。(1) ・図書館でのインタビューや各家庭での聞き取りなどをもとに、インターネットや本などでの調べ活動をする。(2) 	<ul style="list-style-type: none"> ●活動計画を立て、グループごとにめあてを立てている。 【学習方法に関すること】 ●インタビュー内容を考えている。 【学習方法に関すること】 ●協力しながら、図書館の職員へインタビューをしている。 【他者や社会に関すること】 ●九戸村の民話の調べ活動をしている。 【学習方法に関すること】
2 次	<ul style="list-style-type: none"> ○交流活動の方法を考え、必要な物を作ろう ・グループごとに調べ活動をし、紙芝居を作ることができる。 	7	<ul style="list-style-type: none"> ・インタビューや調べ活動をもとに、九戸村の民話の特徴やお話の舞台となっている場所等をまとめ、グループで興味を持った民話を取り上げ、読み聞かせをするための紙芝居を作る。(7) <p>※制作手順をしっかりと示し、紙芝居を作らせる。</p> <p>※制作終了後、グループ内で役割分担と発表のめあてを決める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●グループごとに制作活動に協力して取り組んでいる。 【自分自身に関すること】

3 次	○読み聞かせをしよう ・紙芝居の一部を読み、 参加者の評価をもと に、改善の様子を確認 しながら練習を繰り返 すことができる。 ・学級内で交流し、お互 いに評価し合うととも に、めあての達成具合 を確かめ、次時の活動 意欲を高めることがで きる。	3 本時 1/3	・各グループの発表練習につ いて、授業の参加者や外部 の人に評価していただき、 めあての改善の様子を判断 する。(チェックシートの活 用) (1 本時) ・お互いに評価し合い、読み 聞かせのめあての達成具合 を確かめる。 (1)	●よりよい読み聞かせをす るためのめあてを考えて いる。 【学習方法に関すること】 ●読み聞かせのめあての達 成状況を認め合っている。 【学習方法に関すること】
	・下学年への読み聞かせ をすることができる。		・活動計画や目標設定、進行 や次第、役割分担を確認し、 読み聞かせをする。読み聞 かせ際は、民話の素晴らし さについて発表する。(1)	●校内で下学年への読み聞 かせをしている。 【他者や社会に関すること】
4 次	○活動のまとめをしよう	2	・活動を振り返り、課題につ いてまとめる。(2)	●本単元の活動についてま とめている。 【学習方法に関すること】

8 本時の目標

(1) 本時の目標

- ・自分たちの紙芝居を、下学年の人たちによりよく読み聞かせするための「めあて」を考えて、繰り返して練習することができる。 【学習方法に関すること】

(2) キャリアに関わる目標

- ・参加者や外部の人達からの、紙芝居の読み聞かせに対する評価を受け入れながら練習する。

(3) 本時の展開 (13 / 17)

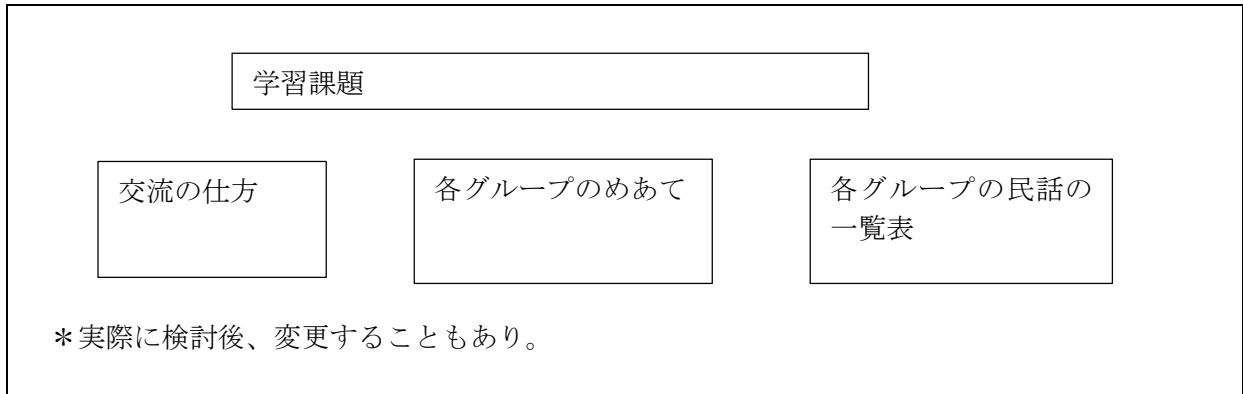
段階	学習活動	指導上の留意点 (●評価)
導 入 7 分	1 紙芝居の制作の目的を想起する。 2 本時の活動の課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">下学年の子どもたちに伝えるた めに、紙芝居の発表を工夫しよう。</div> 3 練習の仕方を確認する。	・紙芝居作りのめあてを提示し、校内の低学 年の児童に伝えることを想起させる。 ・想起したことをもとに、発表のめあてを振 り返り、本時の活動の課題を確認させる。 ・練習の仕方を確認し、本時の活動内容の見 通しをもたせる。(紙板書の準備)

<p>展開</p> <p>33分</p>	<p>4 各グループで、課題を解決するために練習をする。</p> <p>(1) 練習の仕方によって、与えられた時間内で練習をくり返し、参加者や外部の人（図書館職員や読み聞かせボランティアの方）からチェックシートに記入してもらう。紙芝居を読む際には、舞台となっている場所や選んだ理由なども発表する。</p> <p>(2) チェックシートを整理し、自分たちの課題が改善できたのかを判断する。</p> <p>(3) 判断をもとに練習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次の課題解決に取り組むグループと再度同じ課題解決に取り組むグループに分かれる。 ・練習の仕方によって、与えられた時間内で参加者や外部の人にチェックシートに記入してもらいながら練習をくり返す。 <p>(4) 2回目のチェックシートを整理し、自分たちの課題が改善できたのかを判断する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発表の仕方に気をつけさせながら練習に取り組ませ、参加者からチェックシートに記入していただく。 <p>《関わる活動》・・・仮説（1） 参加者や外部の人から、客観的に評価していただきながらの交流</p> <p>《関わりを支える資料》・・・仮説（2） お話を読む資料として、紙芝居を活用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各グループの練習回数を把握するために、取組表にマグネットを貼らせる。 ・発表練習後に、グループでチェックシートの内容を整理させ、課題について改善できたか判断させる。 <p>《関わりを支える資料》・・・仮説（2） チェックシートの内容を整理し、課題の改善状況を判断する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・判断をもとに、課題を解決できたグループには、よりよい発表ができるようめあてを考えさせ、未解決のグループには、再度同じ課題に取り組ませる。 <p>《関わりを支える資料》・・・仮説（2） チェックシートの内容を整理し、課題の改善状況を判断する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで2回目のチェックシートの内容を整理させ、課題の改善状況を判断させる。 ●下学年の人たちによりよく読み聞かせするための「めあて」にそって繰り返して練習することができたか。 【学習方法に関すること】 ●参加者や外部の人達からの評価を受け入れながら練習することができたか。 【キャリア】
<p>終末5分</p>	<p>5 外部の人に講評をしていただき、次時の活動の励みとする。</p> <p>6 お互いの頑張りを認め合い、次回の活動の確認をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外部の人に短く講評をしていただき、次時の意欲付けとしたい。 ・相互評価を促し、次時の活動を告げる。

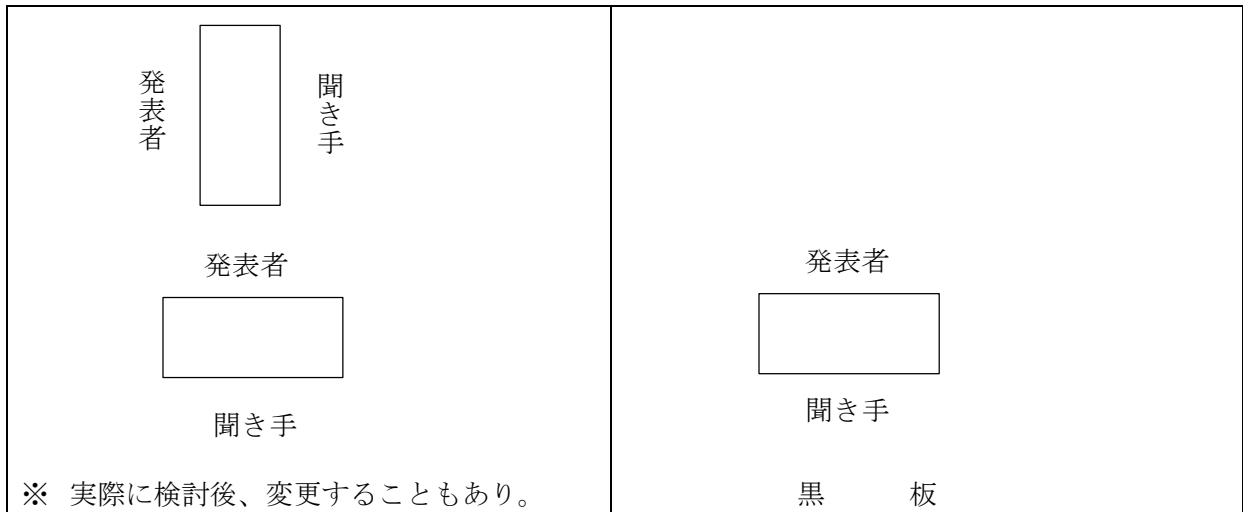
(4) 評価規準

おおむね満足できる (B)	支 援
<ul style="list-style-type: none"> ・「めあて」を持って、紙芝居の読み聞かせの練習を繰り返している。 ・チェックシートの評価をもとに、「めあて」の改善状況を判断している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・制作した紙芝居を活用しての交流活動を振り返えさせ、どんな発表の仕方がよいのかについて机間指導をする。

9 板書計画



10 フロア計画



想起の場面・振り返りの場面

